

## 2025年度中核機能強化事業第三者評価

実施日：2026年 3月 24日(火) 13時から 15時

場 所：児童発達支援センター銀河鉄道

評価者：児童発達支援センターつくも幼児教室

出席者：銀河鉄道管理者：船木氏

つくも幼児教室：齋藤（管理者）、麻生（児童発達管理責任者）

### ① 幅広い発達段階及び多様な障害特性に応じた専門的な発達支援・家族支援の提供体制を確保しているか

医療的ケアが必要な子の受け入れ体制を確保し、受け入れを行っている。通常の集団では通所が難しい子もいるので、重度で医療的ケアが必要な子は、個別支援で対応している。時間を区切って小集団に参加することも行いながら、子どもの成長発達を促している。

来年度より看護師が復職となるため、より専門的な対応をしながら事業所としてできることを増やしていく予定である。今後も幅広く多様な受け入れを期待できる。

### ② 市町村及び地域の関係機関との連携体制を確保しているか (市町村との定期的な情報共有、地域の協議会への参加等)

自立支援協議会の未就学児童の部の座長を務めている。3月には未就学事業所と保育所が参加する研修も行った。未就学児童の部会には公立の保育所も参加してもらっている。

福祉フェスタにおいて子どものためのブースを主催していて、事業所で研修を開いて他の事業所も参加してもらっている。

自立支援協議会を通して幼児期の関係機関との連携を確保しており、特に保育所とのつながりは評価できる。

### ③ 地域の障害児通所支援事業所との連携体制を確保しているか (定期的な情報共有、研修会の開催等)

自立支援協議会を通じて研修会を実施している。また、放課後デイサービス説明会を実施し、放デイ事業所と保護者をつなぐ機会を作っている。

法人でイルミネーションイベントを実施し、放デイの児童や近所の方が見に来たりする機会を作っている。

今後は子育てサロン（保護者が集う場）を作り、地域の方々が話ができる場を設定していきたいとのこと。

幼児期の事業所のみならず、学童期の支援の事業所と連携して、放課後の保護者の不安に応えている点は大切な役割だと考えます。

④ インクルージョンの推進体制を確保しているか  
(保育所等訪問支援の実施、地域の保育所等への助言援助等の実施等)

市内の子育て支援センターの運動会に職員が参加。  
法人内の保育所と合同避難訓練やコンサートの開催などを行っている。また敬老の日に保育所年長児と一緒に系列の老人ホームへお祝いに行く行事もある。  
法人または系列法人の事業所との連携によりインクルージョン推進体制を確保できている。

⑤ 入口としての相談機能を果たす体制を確保しているか  
(障害児相談支援の実施、早期の相談支援の提供等)

基幹相談支援を受託しているため、市役所からの相談依頼を受けることを入口の一つとして担っている。  
系列事業所に成人の相談支援があるため、児童に特化して行い、成人の依頼については成人相談支援事業所に依頼することで役割分担をしている。  
市と連携して、相談機能の役割を果たしている。

⑥ その他事業全般に対する助言等

千葉県障害児等療育支援事業所受託し、土曜日などを中心に幅広いお子さんや制度の手続き外のお子さんの発達支援を実施している。  
八街市を中心として近隣市の事業所や行政とも連携をして幅広く多様なお子さんの受入れを行っている。  
また、法人の強みを活かして、保育所や高齢者施設との交流を通してインクルージョンの推進に努めている点は、事業所の特徴であり、評価できる点の一つである。  
今後も地域の中核事業所として幅広い子どもの受け入れを確保しながら、他事業所との研修などの連携を通して、地域全体の障害児支援の向上に努めていくことを期待する。

2026年 3月 30日

記載者名：児童発達支援センターつくも幼児教室

齋藤 正太郎

